

◆『発注者ナビ』とは

公共工事等の発注者が、品確法の理念に基づき発注事務に取り組むにあたり、参考としていただくことを目的として、各種取組事例を情報提供、共有するものです。

★コンテンツ

- 1) 「全国統一指標」、「関東ブロック独自指標」のフォローアップを実施
～令和4年度調査結果を公表～

公共工事の品質確保

働き方改革

- 2) 関東地方整備局における工事の「総合評価落札方式の適用ガイドライン」の一部改定

入札・契約、総合評価

★特集

- 1) 「建設現場における遠隔臨場取組事例集(関東地方整備局版)」を作成しました！

働き方改革

生産性向上

- 2) 建設技術展2023関東〔C-Xross2023〕 令和5年度 建設技術フォーラムの開催

生産性向上

1) 「全国統一指標」、「関東ブロック指標」のフォローアップを実施 ～令和4年度調査結果を公表～

公共工事の品質確保

働き方改革

○令和元年に「公共工事の品質確保の促進に関する法律」(品確法)が改正され、将来にわたる公共工事の品質確保、その担い手の中長期的な確保・育成を図るために、都道府県や市区町村を含む全ての公共工事の発注者が適切に発注関係事務を運用し、品確法に定められた発注者としての責務を果たしていく必要があります。

○改正品確法の理念を実現するため、各発注者の取組状況の確認と取組の促進を目的として、令和2年に関東ブロック発注者協議会において新たな全国統一指標、関東ブロック独自指標を定め、各発注者ごとに令和6年度までに達成すべき目標値を設定しているところです。

○このたび、全国統一指標、関東ブロック独自指標の令和4年度における各発注者の取組状況についてフォローアップを行い、その調査結果を公表しました。

★詳細はこちら <https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000162.html>

2) 「関東地方整備局における総合評価落札方式の適用ガイドライン」(工事)の一部改定

入札・契約、総合評価

○政府全体で取り組んでいるワーク・ライフ・バランス等推進企業を評価する取組について、対象工事の拡大に伴い、関東地方整備局の総合評価落札方式の運用を一部変更します。

★詳細はこちら <https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/index00000004.html>

特集1 令和5年9月に「建設現場における遠隔臨場取組事例集（関東地方整備局版）」を作成しました！

働き方改革

生産性向上

●【本事例集の内容及び主な特徴】

- ・令和4年4月以降に、建設現場における遠隔臨場に取り組み工夫を実施した事例を掲載。
- ・事例を以下の課題類型に分類し、同様の課題を抱えている受注者の課題解決のため、参照しやすいよう配慮。（計50事例）
 1. 通信環境の改善（13事例）、2. 効率的な計測（17事例）3. 安全管理（9事例）、4. 視認性の向上（6事例）、5. その他（5事例）
- ・工夫を実施した事例は、土木工事の他、機械工事、電気設備工事も掲載。
- ・遠隔臨場は、段階確認、材料確認、立会以外での活用を妨げるものではないことから、「その他」の事例として受発注者の業務効率化に繋がる先進的で画期的な活用事例も掲載。

通信環境の改善（衛星通信による通信環境改善）

〈実施内容〉

課題に対して工夫した点	遠隔臨場による確認項目	映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム
<ul style="list-style-type: none"> ・Starlink（衛星Wifi）を用いて、通信の途切れを軽減させた。 ・音声がかさばらぬ、発信しても届きが悪いなどの観点についてBONX（Bluetooth型イヤホン）を使用し、鮮明に通話可能にした。 ・通話時の手ブレにより、画面酔いしてしまうのに対し、DJIハンドカメラパーを使用し手振れを軽減させた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・段階確認 ・既製杭打設施工開始時（試験杭） ・打設状況・使用材料確認 ・鋼矢板打設完了時（打設高） ・地盤改良施工開始時（試験施工） ・改良状況・使用材料確認 	<ul style="list-style-type: none"> 「記録」 ・SiteLiveスクリーンショット機能 「配信」 ・starlink（衛星Wifi） ・DJIハンドカメラパー ・BONXイヤホン

土木工事

〈工事概要〉 R4荒川第二河川調整池水行及び固結地新設工事

実施期間	R4.12.01～R8.03.31
工事内容	築堤・護岸工 盛土工、法面整形工、固結工 植生工、コンクリートブロック連部 築一カ所等子（土留壁工）工事 ・（既製杭工・コンクリート工・鋼 水・止水矢板工・護岸工）
事務所	荒川調整池工事事務所
受注者	飛鳥建設（株）

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・音声の送受信はとても良好だった
- ・衛星を使用して、映像のタイムラグが軽減された

〈今後改善を要する点〉

- ・立会毎に衛星Wifiをセットしなくてはならないので、設置しておける仕様にした一歩検討
- ・ハンドカメラは片手がふさがるので、両手をフリーにできると安全

●監督職員（発注者）

〈効果〉

- ・移動に時間をとられない為、他の仕事も効率的に進める事ができた。

〈今後改善を要する点〉

- ・当工事通信環境の工夫はしているものの、通信の途切れが発生したため、通信環境の改善が必要。
- ・測量器械を使った立会は監督職員が遠隔臨場することができない。

課題類型の記載及び課題類型ごとに工夫点を整理

・活用した機器
・遠隔臨場した確認事項を具体的に記載

・施工者（受注者）や監督職員（発注者）が活用して感じた「効果」や「今後改善を要する点」など、現場からの生の声を掲載。

・現場でどのように遠隔臨場を活用したか、状況の分かる写真を厳選して掲載。
・「遠隔臨場の初心者」でも分かりやすい事例集として

※「建設現場における遠隔臨場取組事例集（関東地方整備局版）」は関東地方整備局ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス
<https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000212.html>

特集2 建設技術展2023関東〔C-Xross2023〕

令和5年度 建設技術フォーラム 開催

生産性向上

「建設技術展2023関東（C-Xross2023）」は、11月15日（水）と16日（木）の二日間にかけて、池袋のサンシャインシティで当地整の後援の下、日刊建設工業新聞社が開催するものです。

このイベントは、「想像を超える、技術と出会う」をサブテーマとし、企業・団体の新技術・工法やサービスの展示、講演や出展者プレゼンテーションなどのステージ・プログラムに加え、建設の魅力を伝えるイベント（イラスト展示や写真展、VRを用いた重機体験）や、学生向けまるわかりトークセッションなどのイベントも行うものであります。

C-Xross2023のプログラムの1つとして、15日（水）PMに当地整主催の「建設技術フォーラム」を併催し先端的な産学による技術発表を行います。また、当地整の出展ブースでは、DX技術が学べる体験型コンテンツ（VR操作体験やBIM/CIM操作体験）、関東大震災・防災の展示なども行っていますので、皆様の積極的なご参加をお待ちしています。入場無料、事前登録不要です。是非、会場にお越し下さい。

土木学会 CPDI[各日4単位] / CPDS[各日2ユニット] 認定取得済

想像を超える、技術と出会う。

建設技術展 2023 関東

2023年11月15日[水]
11月16日[木]

サンシャインシティ展示ホール C+D(文化会館ビル 2F・3F)
10:00~17:00(最終日は16:00まで)

出展者数180超!
最先端の建設技術とサービスを体験できる三日間!

ステージプログラムのご紹介

11月15日	展示	国土交通省 国土政策部 国土政策課
15日	展示	国土交通省 国土政策部 国土政策課
16日	展示	国土交通省 国土政策部 国土政策課

併催

建設技術フォーラム

11月15日

【主催】日刊建設工業新聞社

C-XROSS 2023 <https://www.decn.co.jp/kengi2023/>

オンライン展示会 2023年11月15日[水]-12月28日[木]

建設技術フォーラム

サンシャインシティ展示ホールC

2023年11月15日(水)

「建設技術展2023関東」
ステージAにて開催!
【3階/Cホール】

13:30-16:25

ステージプログラム

13:30~13:35	開会挨拶	関東地方整備局長 藤巻 浩之
13:35~14:05	生コンの廃棄物を革新的に活用する材料技術開発	横浜国立大学大学院 藤田 穂氏
14:05~14:25	UNIMORS (傾斜地でパワフルに使えるオール電動草刈り機)	株式会社ユニック 竹内 幹夫氏
＜体験＞		
14:25~14:55	河川監視カメラを活用した拡張現実技術の研究開発	東京都立大学 今村 龍之氏
15:05~15:25	土砂掻き起こし機械 (シェイブ)	日キロード・メンテナンス株式会社 福岡 孝氏
＜体験＞		
15:25~15:55	画像処理に基づく踏面性状認識	東京電機大学 中村 明生氏
16:05~16:25	深層学習と赤色立体地図を用いた航空レーザデータのフィルタリング技術	アジア航測株式会社 角田 崇英氏

建設技術フォーラムはC-Xrossとコラボレーションして、最先端技術(IoT、ロボット、AI等)を建設現場に取り入れることを目的に、「i-Construction」/「i-InfraDX」に資する技術などを紹介しています。

事前登録不要・入場無料!

国土交通省 関東地方整備局 企画部 国土政策課
建設技術フォーラム2023事務局
E-mail: ktr-netis@mlit.go.jp

C-XROSS Construction Xross 2023

建設技術展2023 関東

サンシャインシティ
〒170-8630 東京都豊島区東池袋3丁目1番
TEL:03-2009-3331

●敷出時間 (東京メトロ有楽町線) 6-7番出口より地下連絡で徒歩約3分

●会場設 (2階) 東池袋駅西口西武池袋線東武東上線 35番出口より徒歩約5分

【建設技術展2023関東 特設サイト】 <https://www.decn.co.jp/kengi2023/>

【令和5年度建設技術フォーラム HP】 <https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000254.html>

※詳細については、事務局へお問い合わせください。

発行元(事務局): 国土交通省関東地方整備局 企画部技術調査課
TEL:048-601-3151(代表)